



第2代 皆見 ^{せいご} 省吾 教授

昭和6年(1931)4月～昭和23年(1948)4月

- 明治26年(1893)11月1日 広島市にて出生
大正7年(1918)12月 東京帝国大学医科大学卒業
大正8年(1919)1月 東京帝国大学医科大学教室入局
(皮膚科)
大正11年(1922)6月 文部省在外研究員として渡欧
大正13年(1924)8月 帰朝
大正13年(1924)10月 岡山医科大学教授(皮膚科)
昭和6年(1931)4月 九州帝国大学医学部教授(皮膚科)
昭和17年(1942)6月 九州帝国大学医学部附属病院長
(任期2年)
昭和23年(1948)4月 九州大学退官・福岡市にて開業
昭和25年(1950)5月 九州大学名誉教授
昭和35年(1960)4月 日本皮膚科学会名誉会員
昭和50年(1975)9月6日 逝去(81歳)

官位：従三位(昭50) 叙勲：勲三等(昭50)

受賞：日本医師会最高優功賞(昭41)



第二代教授

皆見省吾(みなみ せいご)先生 昭和6(1931)年4月- 昭和23(1948)年3月



- 梅毒の治療に関する研究。
- 真菌学とりわけ酵母菌の研究。
- 著書『皮膚病梅毒学』は、我が国の皮膚科学教科書のスタンダード。
- 昭和8(1933)年より『皮膚と泌尿』(現、西日本皮膚科)を創刊。
- 日本皮膚科学会へ基金を寄せられ、「皆見賞」の創設。

